



2023年5月18日

各 位

会 社 名 株式会社 フジミインコーポレーテッド
代表者名 代表取締役社長 関 敬 史
(コード番号 5384 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 財 務 本 部 長 川 島 敏 裕
(TEL 052-503-8181)

当社取締役会の実効性に関する自己評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値向上を継続的に図ることを目的に、毎年、取締役会の実効性評価を実施しております。

今般、2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日)の取締役会の実効性に関する分析、評価を行いましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 前年度の取締役会の実効性評価において改善の必要性が認められた項目に対する改善策の実施状況について

- リスク管理体制強化のための定期的な議論を確保する仕組みについての見直し及び再構築

従前より実施しているリスク管理状況に関する審議に加え、今後の企業戦略遂行にあたり、新たに対処が必要と考えられるリスク管理事項を抽出すべく、取締役による定期的なディスカッション機会の確保等を推進いたしました。

2. 2022年度の取締役会の実効性評価方法

取締役及び監査役を対象に、2023年3月末～4月上旬に以下のアンケートを行い、全員から回答を得ました。(回答は無記名)

【取締役会の実効性に関するアンケート内容 4段階評価】

- (1) 取締役会の構成に関する設問(2問)
- (2) 取締役会の運営に関する設問(7問)
- (3) 取締役会の議題に関する設問(5問)
- (4) 取締役会を支える体制に関する設問(5問)
- (5) 自由記述

※ (1)～(4) 全ての設問に対してコメントが記載できる方式

3. 2022年度の取締役会の実効性分析・評価結果の概要

2022年度の取締役会の実効性評価結果を総合的に分析・評価した結果、前年度の改善項目において、対策の実施により評価は改善しており、また、取締役会の構成、運営、議題、支える体制においても、概ね良好な結果となっていることから、実効性は確保されていると判断いたします。しかしながら、以下の点については、取締役会の実効性をより一層高める上で、改善を図る必要性を認識いたしました為、対策を講じてまいります。

- 取締役会会議資料の内容・分量の適正化

以上